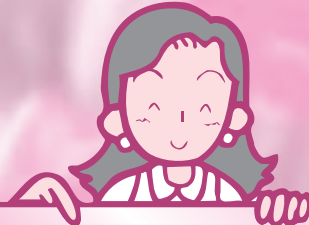


ここが聞きたい 市政をただす

一般質問



もっと詳しく!!

もっと詳しく財政問題、教育問題、少子化問題... etc聞かせてちょうだい。

3月8日、9日、12日の本会議では、延べ25人の議員が質疑・一般質問を行い、議案や市政全般にわたり活発な質問が行われました。

官民連携による廃食油リサイクル事業

Q 先般発表された廃食油のリサイクル事業は、市内の一般家庭及び公共施設から排出される廃食油を回収し、精製し、バイオディーゼル燃料として再利用を図ること。事業実施には廃食油精製装置導入などの費用が必要となるが、このたびある企業がCSRの一環として市の事業支援を表明し、官民連携の相互による環境事業に取り組みたいとのこと。正式な覚書の締結をしたとのこと。事業に関し、1月に一般家庭用と事業所用でアンケートを実施されているが、その結果はどうだったのか。結果を受け、今後どのように実施を予定されるようになっているのか。

A 油の分別も厳しい上、回収時には持ち運びなど、市民の労力も大変だろうと予想するが、加西市の実施にどうしているのか。

A 平成19年1月に実施したアンケートについては、一般家庭用は回収率35%、事業所用は31.5%となっており、調査の内容は、当事業への協力に対する意識調査及び回収方法、その量を把握するということ

を主に実施しました。市民、事業所とも、約半数以上は協力したいというような回答がございました。廃食油の回収の実施におきましては、市民の一人ひとりの協力をいただくことが必要不可欠です。先進地のどの事例を見ましても、事業開始当初では多数の方の協力が得られたというようなわけではなく、協力の意思があってもなかなか行動を起こすことは大変なことと考えております。加西市としましては、小さな取り組みから始めまして、この取り組みに賛同していただける方を徐々に拡大していくことにより、やがては市全体の取り組みということに発展させていきたいというふうに考えております。回収方法などについても市民からの協力の得やすい方法を検討する必要があります。あるとどういふふうに考えております。

窓口業務の時間延長と市民サービスの向上

Q 窓口業務の時間延長は、市民ニーズに合ったサービスと考えるが、どのように受けとめられているか。質問をする、返ってくる言葉として加西市には自動交付機があると答弁されるが、利用状況は以前と変わっていない。また、改革マニフェストの中で総合窓口の開

設、またサービス時間の拡大と質の向上ということが言われておりますけれども、どう検討されるようになっているのか。

A 現在改革マニフェストの中で人員と業務の棚卸しによる業務改善、職員の適正配置、アウトソーシングの促進、情報システム最適化と業務手順の見直し、総合窓口の開設と窓口業務の事業委託、窓口サービスの質の向上と各種サービス時間の拡大といった項目につきましてワーキンググループで検討しているところですが、2月1日から14日に実施をいたしました窓口サービス市民アンケートの結果を参考にしながら、市民の利用状況や要望を把握し、また望ましい窓口のあり方サービス時間の拡大、あるいは質の向上などについて協議をしていきたいと考えています。また、市税証明や戸籍証明の発行など、自動交付機の多様化、業務の効率化について検討をしていきたいと考えています。また、あわせて対費用効果も検証してまいりたいというふうに考えております。

九会幼児園構想

Q 九会幼児園の方向性については3園を統合するとのことであるが、一部増設案であった

平成13年6月から18年12月までの会議録は、<http://www.kaigiroku.net/kensaku/kasai/kasai.html>でご覧いただけます。また、過去の会議録は、市立図書館で閲覧できます。